



2007年4月27日

各 位

会社名 伊藤忠商事株式会社
代表者名 取締役社長 小林栄三
(コード番号 8001 東証第一部)
問合せ先 広報部長 松本吉晴
(TEL. 03-3497-7291)

中期経営計画「Frontier⁺ 2008 ～世界企業を目指し、挑む～」

当社は、2007～2008 年度の中期経営計画「Frontier⁺ 2008 ～世界企業を目指し、挑む～」を策定しましたのでお知らせします。

詳細につきましては、添付の資料をご参照ください。

以 上

Frontier+ 2008

2007～2008年度 中期経営計画

2007年4月27日

伊藤忠商事株式会社

「安定的且つ継続的に連結純利益1,000億円以上を達成する高収益企業グループを確立」

Frontier-2006 実績

(億円)

	05年度(実績)	06年度(実績)
連結純利益	1,451	1,771
連結総資産	47,970	52,715
ネットDER	2.4倍	1.8倍

Frontier-2006 当初計画

(億円)

	05年度(計画)	06年度(計画)
連結純利益	1,000	1,100
連結総資産	47,000	50,000
ネットDER	3.3倍	3.0倍未満

攻めへのシフト

5つの利益項目で過去最高益を達成

(単体:純利益、連結:売上総利益、営業利益、税引前利益、純利益)

消費関連: ブランド事業を更に推進
 国内外で食品卸事業を拡大

資源開発関連: 西豪州鉄鉱石事業の拡張投資を継続
 ACG原油開発プロジェクトでの生産が急速に拡大

新規ビジネス: ライフケア分野で先行布石
 予防医療分野へ参入

守りの堅持

財務体質は更に改善 >> ネットDERは1.8倍を達成

内部統制に対応

ITOCHU DNAプロジェクトをスタート

Frontier-2006 での投資計画

収益拡大のための積極的な投資を実行
2年間でネット2,000億円程度の投資の積み増し

Frontier-2006 投資実績

2年間でネット3,100億円(グロス5,000億円)の投資実行

- ① 生活消費関連分野: 1/4
- ② 資源エネルギー関連分野: 1/4
- ③ その他の分野(機械・情報産業・金融・化学品等): 1/2

Frontier-2006 主要投資案件

生活消費関連:	Paul Smith LeSportsac 日本アクセス
資源エネルギー関連:	IMEA(豪州鉄鉱石) ACG(アゼルバイジャン油田) BTCパイプライン アルバ・カレドニア(北海油田)
その他の分野:	オリエントコーポレーション いすゞ自動車 曙ブレーキ

Frontier+ 2008

～世界企業を目指し、挑む～

基本方針

Frontier-2006 のコンセプトを受け継ぎ、「攻め」を強めるとともに、「全てのステークホルダーにとって魅力溢れる世界企業」を目指す。

- 【世界視点】 世界で収益を上げる、真のグローバル展開
- 【新たに創る】 変化を捉え、挑み、新たな分野を切り拓く
- 【人材力を磨く】 世界に人材を求め、育て、活かす

Frontier+ 2008

～世界企業を目指し、挑む～

Frontier+ 2008

(億円)

	06年度(実績)	07年度(計画)	08年度(計画)
連結純利益	1,771	2,100	2,100
連結総資産	52,715	58,000	63,000
ネットDER	1.8倍	1.7倍	1.7倍以下

計画の前提

	06年度	07年度	08年度
為替(YEN / \$)	117	110	110
金利(%) TIBOR(¥)	0.4%	1.1%	1.7%
油価(\$ / BBL)	66	55	07年度並を想定
鉄鉱石(\$ / TON)	53	58	同上
強粘結炭(\$ / TON)	116	98	同上

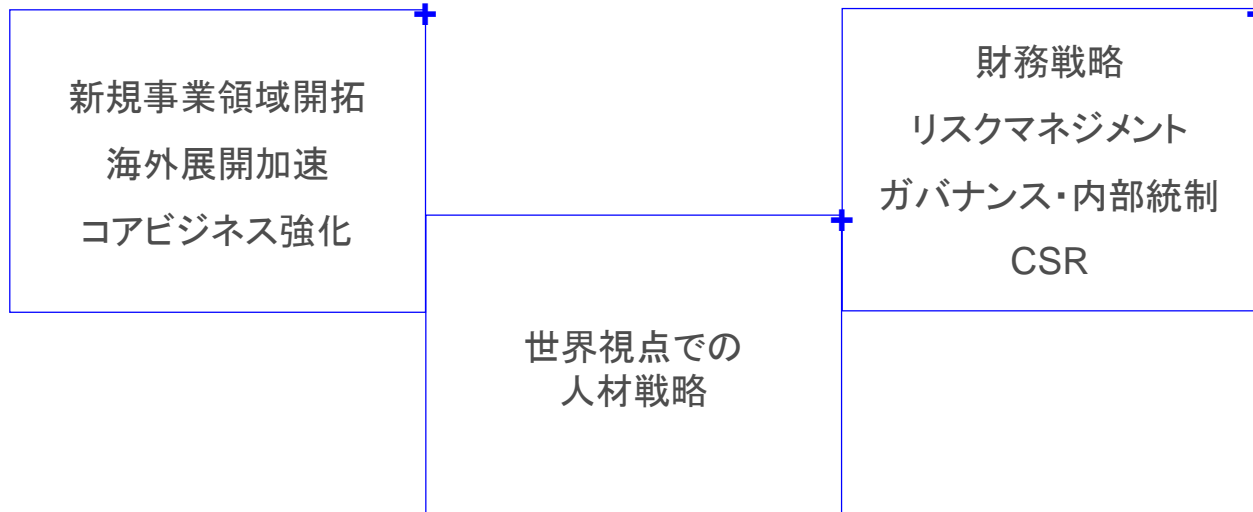
原油はブレント原油

鉄鉱石、強粘結炭は対日ベンチマーク価格

Frontier+ 2008

～世界企業を目指し、挑む～

重要施策



Frontier+ 2008

～世界企業を目指し、挑む～

未来の収益を支えるL-I-N-E-s

【新たに創る】分野

Life Care: 医療関連・健康関連ビジネス

* ライフケア事業推進部を総本社に新設。

Infrastructure: 機能インフラ(IT・LT・FT) / 社会インフラ関連ビジネス

New Technologies & Materials: 先端技術(バイオ・ナノ他)

Environment & New Energy: 環境・新エネルギー

Synergy

繊維co.

機械co.

宇宙・情報・
マルチメディア
co.

金属・
エネルギーco.

生活資材・
化学品co.

食料co.

金融・不動産
保険・物流
co.

総本社
開発組織

Frontier+ 2008

～世界企業を目指し、挑む～

【世界視点】

重点地域:

- ・北米、中国・アジア

* アジアでの横断型取組みを推進



注力地域:

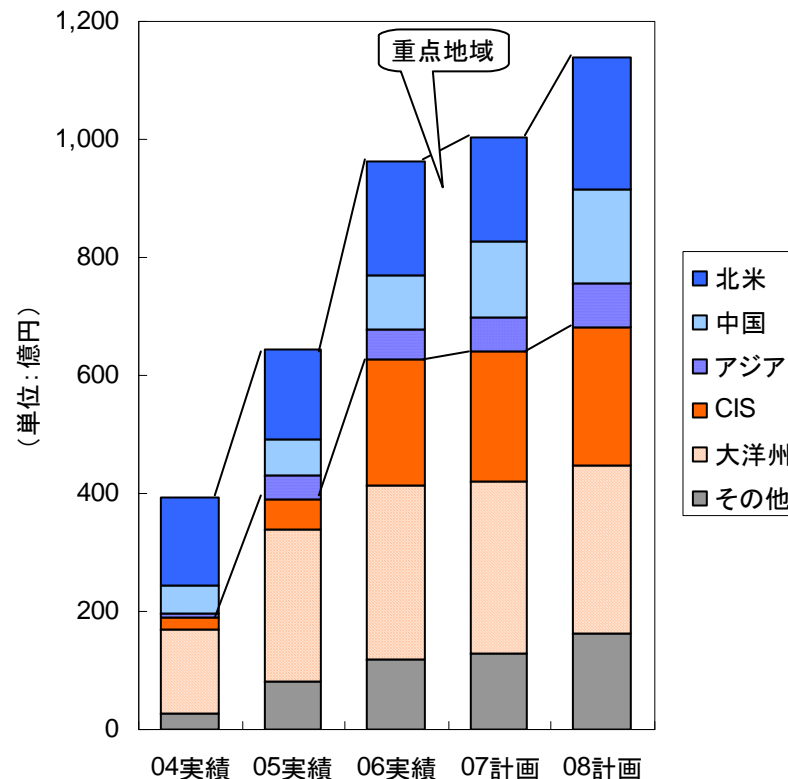
- ・豊富な資源を持つ成長国
- ・当社グループが強みを持つ国

投資の70%程度を
重点地域を中心とする
海外で実行

世界人材を育成・登用

海外事業収益の拡大

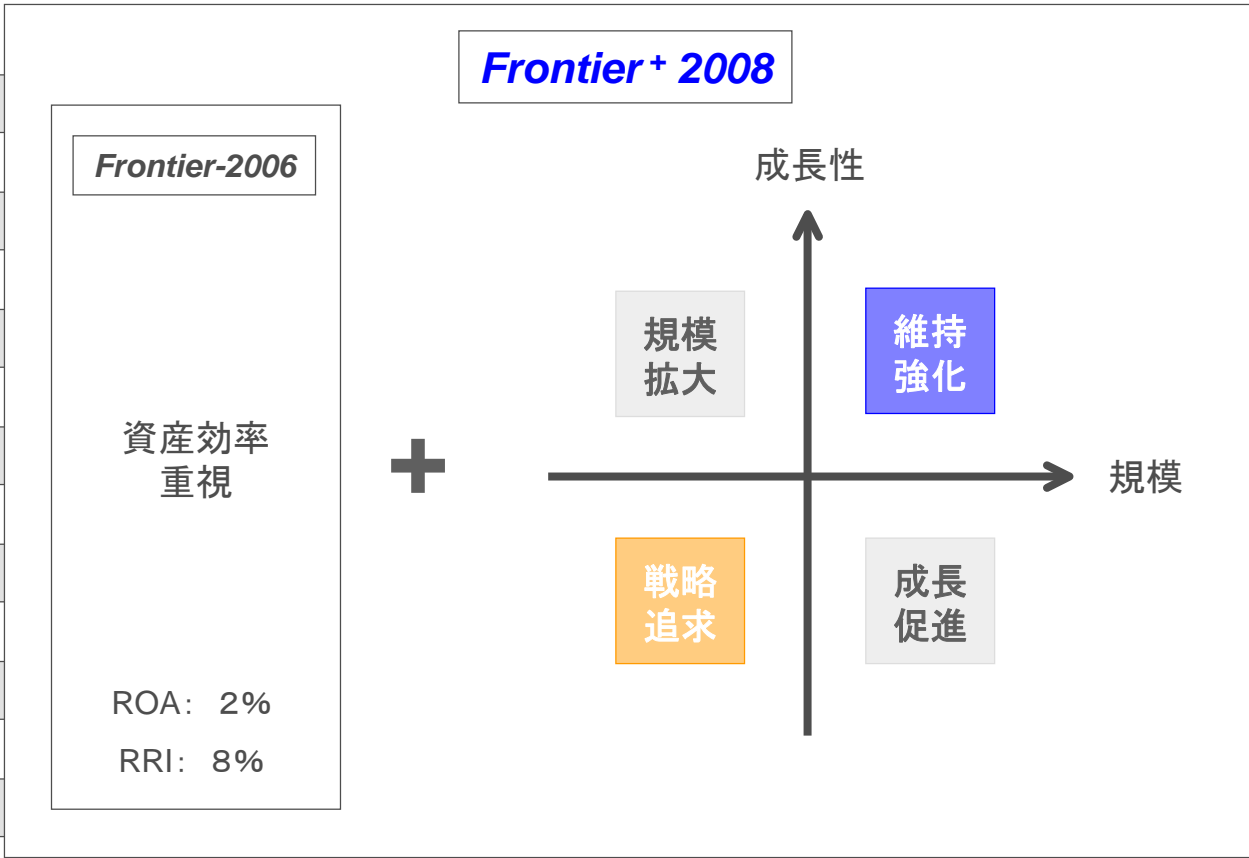
*海外事業収益=海外現地法人・支店 + 海外事業
(実質海外事業含む)



Frontier+ 2008

～世界企業を目指し、挑む～

- 繊維Co.
- 機械Co.
- 宇宙・情報・マルチメディアCo.
- 金属・エネルギーCo.
- 生活資材・化学品Co.
- 食料Co.
- 金融・不動産・保険・物流Co.



Frontier+ 2008

～世界企業を目指し、挑む～

投資計画

Frontier+ 2008 では、2年間でグロス5,000億円程度の投資を予定。

主たる投資分野

生活消費関連	ブランドマーケティング分野	ブランドホルダー企業への経営参画、商標権買収、中国・アジアでの展開
	食糧・食材分野	対日・国内SIS戦略に加え、グローバルSIS戦略の推進
	生活資材分野	住宅資材・紙パルプ・ゴムタイヤを中核に、事業・トレードをグローバル展開
資源エネルギー関連	資源開発分野	金属・エネルギー関連の既存権益拡張と新規権益取得、及びトレードとの接続による収益基盤の維持・増強
その他	自動車関連分野	成長市場でのトレードの拡大と、戦略市場における自動車関連事業の展開
	情報産業分野	CTCを核とした規模の追求と、ITインフラを活用したサービス事業の展開
	金融分野	オリコを核としたリーテイル向けビジネスの拡大と、市場・法人向けビジネスの展開
	化学品分野	基礎化学品からプラスチック製品・医薬品までの世界規模での展開

Frontier+ 2008

～世界企業を目指し、挑む～

配当の基本方針

当社は、成長戦略に向けた内部留保による株主資本の充実、会社競争力の維持・強化を図るとともに、株主配当金につきましては、業績も勘案のうえ、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針としております。**Frontier+ 2008** 期間においては、単体株主資本の充実も図りつつ、株主配当額を段階的に引上げ、連結配当性向の向上を目指します。

Frontier+ 2008

～世界企業を目指し、挑む～

財務戦略・リスクマネジメント

株主資本の更なる充実

リスクアセットの厳格なコントロール

ガバナンス・CSR・内部統制

コーポレートガバナンスの強化

積極的かつ主体的なCSRの推進

適正かつ効率的な内部統制の構築

ITOCHU DNAプロジェクト

内部統制プロジェクトと連携し、業務効率の向上を担う業務改革を推進

Frontier+ 2008

～世界企業を目指し、挑む～

【人材力を磨く】

経営者人材の育成

世界人材の育成

- ・グループ全体で経営者人材を育成
- ・人材多様化の更なる推進
- ・世界人材・開発センターの新設

Frontier+ 2008

～世界企業を目指し、挑む～

基本方針

Frontier-2006 のコンセプトを受け継ぎ、「攻め」を強めるとともに、「全てのステークホルダーにとって魅力溢れる世界企業」を目指す。

- 【世界視点】 世界で収益を上げる、真のグローバル展開
- 【新たに創る】 変化を捉え、挑み、新たな分野を切り拓く
- 【人材力を磨く】 世界に人材を求め、育て、活かす

見通しに関する注意事項

本資料に記載されている伊藤忠商事の計画・戦略・見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な期待・見積り・予想に基づいています。これらの期待・見積り・予想は、経済情勢の変化・為替レートの変動・競争環境の変化・係争中及び将来の訴訟の結果・調達資金や金融商品・財源の継続的な有用性など多くの潜在的リスク・不確実な要素・仮定の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる可能性があります。従って、これらの将来予測に関する記述に全面的に依拠することは差し控えるようお願いいたします。また、伊藤忠商事は新しい情報・将来の出来事等に基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。